
「切除可能膵癌におけるプロテオグリカン合成酵素 CHST15 が腫瘍免疫に及ぼす影響の解析」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014年9月から2024年8月31日までの切除可能膵癌に対し超音波内視鏡ガイド下生検（endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration: EUS-FNA）を施行し、その後手術を受けた20歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

対象となる患者さんの膵癌組織から、Carbohydrate Sulfotransferase 15（CHST15）という酵素を解析して腫瘍免疫の状態を調べることで、今後、予後予測や治療方針の決定につながることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

膵癌組織からCHST15の解析を行うほかに、下記の臨床情報を診療録より取得させていただきます。

- ・年齢(診断時)
 - ・性別
 - ・身長
 - ・体重
 - ・病歴に関する情報
 - ・癌の病期(ステージ)
 - ・癌の画像診断における所見

- ・血液学的検査所見
- ・血液生化学的検査所見
- ・血液腫瘍マーカー
- ・手術方法
- ・手術合併症
- ・転帰・予後

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である谷坂 優樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

1. に記載した通り、CHST15 の情報は、患者さんの膵癌組織から取得し、上記した臨床情報は、診療録より取得させていただきます。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 研究責任者 谷坂 優樹

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 谷坂 優樹

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話： 049-984-4111

○研究課題名：切除可能膵癌におけるプロテオグリカン合成酵素 CHST15 が腫瘍免疫に及ぼす影響の解析

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 谷坂 優樹